

# 見 解 書

令和3年9月14日

伊賀市炊村 1187-17  
株式会社グリーンワークス  
代表取締役 永井 充

先の9月13日に御提出頂きました意見書に対して弊社の見解を示させていただきます。

・産業廃棄物処理施設及び産業廃棄物搬入時の臭いに一年中悩まされる懸念がある。このような所に子や孫を住まわせる事は出来ない。

→臭いの流出防止として、搬入時は荷台及びコンテナにシートがけを行い、荷降ろしから、混合・攪拌・製品の積込みまで全て密閉された建屋内で行い建屋の扉も必要時以外は締め切って作業を行います。また、建屋には脱臭装置を装備し近隣の皆様に対して不快な思いがないように作業を行います。

工場の各ポイントにて毎日臭気測定を行い、問題が発生した場合は脱臭材などの散布を行うなど対策を講じます。

・産業廃棄物処理施設建設により、地域のイメージダウンになるのではないかと危惧するものであり、風評被害など農家にとっては死活問題である。

→弊社では、地域のイメージダウンになるとは考えておりません。現行の法律上、産業廃棄物処理施設の許可が必要となっていますが、行うことは肥料の製造です。また、出来た肥料も農家の方々にご提供出来ればと思っています。

・産業廃棄物処理施設は、大気と水質の汚染を起こす可能性がある。住宅地が近くにあり、住民の健康面で問題が生じる恐れがある。

→弊社、施設は処理による排水は発生せず、密閉された建屋内で作業することにより、しっかりと臭気対策を行いますので、健康面に問題が生じる事はございません。又、自主アセス(環境測定)を定期的に行い近隣の方々に開示致します。

・健康被害についてどう考えているのか？被害が発生した場合どのような対策と賠償を考えているのか？健康被害が明らかになった場合、この土地では生活出来ないことになる。

→弊社の施設にて受け入れますのは、食品くず、食用油、飲料水、調味料、木くず、牛ふん等であり、有害物質が入る様な物は受入ません。また、弊社から炊村内の一番近い集落まで直線距離で800m以上あり、生活環境への影響はございませんので、ご安心ください。

・汚染物質の規定値以下の保持や機器の保全が正常に行われているかどうかの不安が残る。

→日常点検において、機器の点検・醗酵時の温度管理・臭気の確認、測定の頻度・場所、方法等を行政と相談の上、決めております。また、点検・測定結果の記録を日々行い保管してまいります。記録に関しましては、ご要望があればいつでも公開を致します。工場見学も可能ですので、いつでもお越しいただき皆様方の目で日々の作業をご確認ください。

・安全性については万全の対策で運営されているとは思いますが、想定外の問題がないとはいえません。

→ご意見の通り安全性については、万全の体制で運営を行います。万が一、何か問題が生じる様な事が御座いましたら、迅速に対応を行い、責任を持って解決を致します。又、地区の皆様の御意見・御要望を当施設の運営に取り入れてまいります。

・当地区では、牛糞の堆肥化施設と係争中であり、地区住民は特に「牛糞に係る施設」に対して強い不信感をもっている。

→弊社の近くにある堆肥化施設と係争中である事は承知しております。

しかしながらその施設と弊社の施設とは全く内容が違っております。先ず、弊社の施設におきましては、荷降ろしから混合・醗酵・製品の積み込みまで全て密閉された建屋内(全面コンクリート製の床)で扉を閉めた状態で行い、搬入・搬出時も必ずシートがけを行います。また、処理による排水は無く建屋には脱臭装置も備えられ悪臭が外部へ漏れる事は一切ございません。地区住民様が懸念されるような施設ではございませんので、ご安心ください。

※弊社、グリーンワークスは長年(20年近く)にわたり当地で木材チップの工場を営み地域と共に歩んできたと自負しております。

地区の皆様には、大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、弊社がこの施設を計画しているのはいくつかの考えがございます。

弊社代表である永井の息子が後を継ぐ決心をし作業現場に入って間もない時期に、コロナの影響もあり木材の入荷が減少する中、今後の事業計画を考えていくにあたり、SDGs(持続可能な開発目標)、循環型社会のニーズ、地域の困り事などを含め、再び地域と共存していける事業を考えた結果、今回の施設となりました。

決して地区の皆様にご迷惑をお掛け致しませんので、何卒ご理解の程重ねてお願い致します。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。